

令和8年度

第1回 周南市健康づくり推進協議会

(会議録)

日時：令和8年6月18日（木）13：30～14：35  
場所：徳山保健センター 3階 健康増進室1

会議日時：令和8年6月18日（木）13時30分～14時35分

出席委員：11名

団体名	委員名
周南公立大学	大平 光子
周南健康福祉センター	吉山 裕規
徳山薬剤師会	原田 裕介
山口県栄養士会周南地域事業推進委員会	中村 洋介
周南市スポーツ推進委員協議会	明石 和憲
周南市母子保健推進協議会	岸本 洋子
周南市食生活改善推進協議会	佐々木 哲子
JA山口県周南統括本部女性部	山縣 秀子
公募委員	柳谷 悦子
公募委員	山崎 美智子
公募委員	中村 好枝

欠席委員：4名（委任状提出）

## 1 開会

●事務局 皆様、こんにちは。ただいまより、令和8年度第1回周南市健康づくり推進協議会を開会いたします。

開会にあたり、健康づくり推進課長よりご挨拶させていただきます。

○課長 （挨拶）

●事務局 本日の出席状況を報告いたします。

周南市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第3項に、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことはできない」と規定しております。本日の出席委員は15名中11名で、委任状を4名いただいておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

次に、山口県栄養士会周南地域事業推進委員会選出の委員に交代がありましたので、新たに委員に就任されました中村委員、自己紹介をお願いします。

○委員 （自己紹介）

●事務局 それでは、議事に移ります。以降の進行は、会長の方をお願いします。

○会長 （挨拶）

## 2 協議

○会長 それでは、協議事項に入ります。

議題①「令和7年度健康づくり事業実績報告について」、事務局より説明をお願いします。

●事務局 （「令和7年度健康づくり事業実績報告について」説明）

○会 長 議題1につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

○委 員 山口県のがん受診率は全国最下位で47位となっておりますが、反面、死亡率は真ん中くらいとなっております。医療機関へのアクセスの良さが死亡率を下げているのではないのでしょうか。肺がんはテレビの影響もあり、個別検診受診率が増加したとのことでしたが、なぜ肺がんだけ受診率が増えて他のがん検診は増加しなかったのかご存知であれば教えていただけますか。

また、高齢化により検診に行きにくい状況があるのではないかと思うのですが、その辺りは把握されておられますか。

●事務局 1 点目のご質問で、肺がん以外の検診の取組や受診勧奨について昨年度はテレビ番組で肺がんが取り上げられたため、肺がんの受診勧奨を行いました。同じように大腸がんや子宮がん、乳がんについても受診勧奨を行いました。子宮がんと乳がんは2年に一度の検診であるため、昨年度との比較ではなく2年前の受診者と比較して受診率の伸びを見ています。子宮がんと乳がんについては冊子のP14とP15をご覧ください、子宮がんは昨年度3,752人で2年前の3,927人に比べて減少しています。受診勧奨も行っておりますが、年代別で分析しますと20代の特に若い世代の受診が少ない傾向にあります。ただ、若い方は職場検診を受診している方もいらっしゃると思いますが、このグラフは市の検診受診者のデータになりますので、実際に若い方々がどの方法で受診されているのか実態がつかめていない状況にあります。また、人口も減少していく中で、受診者の増加に結び付かず受診率が低迷している実態もあります。

2 点目の高齢化による検診へのアクセスの問題につきましては、市では集団検診を実施しており、昨年度までは、駐車場も広く、一度に全ての検診を受診することが可能であることから「ボートレース徳山」を検診会場として設定していましたが、車に乗らない人は行きにくいとの意見もあり、今年からは比較的アクセスがしやすい徳山の中心部での実施に変更しています。市としても出来るだけ市民の皆さまが足を運びやすい環境を整えていきたいと思っております。

○会 長 事務局からの回答を聞かれて、今後の要望等がございましたらよろしく願いいたします。

○委 員 若い人の受診率が低いことに対して、健康づくり計画のアンケート調査の際に、若い人が市の検診を受けているのか職場検診を受けているのか、どのような方法で検診を受けているのかもっと正確な実態を把握することは出来ないのでしょうか。

●事務局 令和6年度の間評価では、職場の検診を含めて20代の方に検診を受けたかお尋ねをしております。調査の結果、20代は他の年代よりも受診率が低いということが明らかになりました。若い人の受診に対する意識が低いということが考えられます。

○会 長 他に質問等はございませんでしょうか。

○委 員 入院している人は、病院で定期的に管理しているので、市の検診は受けられないが、受診者の母数には含まれるので受診率が下がるのではないのでしょうか。

- 事務局 入院や治療中の方は医療管理中のため、検診を受けておられない人がおられます。市では、どの方が入院しておられるか、治療中であるかを把握できないため、対象者全員を分母として受診率を出しています。
- 会長 正確な実態把握が難しいところではありますが、若い世代には早いうちから健康への関心やヘルスリテラシーとして健康や医療に関する正しい情報を自分で選んでもらえるように看護系の学生についても働きかけていけたらと感想を持ちました。
- 高齢化によるアクセスを改善するために、検診車が市民の身近な場所に来ることや、最近では診療の形態の一つとして医療 MaaS（マース）といった診療ができる車などが普及していることから、そういったものが検診の分野でも役立てていける可能性があるのではないかと思います。
- 最後に、こころの元気と休養の自殺死亡率が現状よりも下がっているという結果が出ていますが、年齢や性別がわかりますか。
- 事務局 正確な年齢等は公表されておりませんが、男性で働き世代や高齢者の自殺者が多いということは把握しております。
- 会長 議題2に移ります。
- 「令和8年度 健康づくり事業計画案について」、事務局からお願いいたします。
- 事務局 （「令和8年度 健康づくり事業計画案について」説明）
- 会長 議題2につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。
- 新規事業で食生活に関することもございましたが、ご意見などございませんでしょうか。
- 委員 活動の中で朝ごはんの大切さについて啓発を行っています。周南公立大学にもご協力をいただきながら実施させていただいておりますので、引き続きご協力をお願いできたらと思います。
- 会長 食生活は生きる上での基本になります。重層的に様々な活動が広がり、少しずつ成果に結びつくと思っています。継続的な活動をお願いしたいと思います。
- その他の委員の皆さま何かございませんでしょうか。
- 委員 道の駅ソレーネ周南との連携事業について説明がありましたが、今後、道の駅ソレーネ周南が拡張し、こどもまんなか宣言で取り組まれていると思うのですが、これに付随して何か取組を考えておられますか。
- 事務局 道の駅ソレーネ周南の拡張計画の中で、健康に関することも何か取り組めたらよいという話がありますが、現時点で今後具体的にどのような方向で進めていくのか当課では把握しておりません。
- 委員 健康管理に関することで、集団検診と個別検診の差を見させていただきましたが、胃がん検診の集団検診で内視鏡検査を実施することはできないのでしょうか。
- 事務局 集団検診は検診車による検診になりますので、バリウムだけの実施になっている状況です。内視鏡検査については、個別検診で受けていただくようになります。
- 会長 集団検診で内視鏡検査を実施することは難しい現状ではありますが、今後に向け

て、検診形態も発展していけばよいと思います。

がん検診等について何かご助言がありますでしょうか。

○委員 内視鏡検査はある程度の設備と受診時間の確保が必要になりますので、現状難しい旨を理解していただけたらと思います。

別件になりますが、若者世代に向けた広報活動について、今後予定している取組はありますでしょうか。

●事務局 がん検診は制度が複雑なため、皆さまにも一度整理していただきたいと思います。けんしんガイドをご覧ください。検診には、住民検診、職域検診、人間ドックと3つの制度が混在しております。市が実施しているのが住民検診になります。住民検診を受ける人の状況のみ市が把握できており、職域検診や人間ドックについては正確な数字を把握できていません。こういった制度の複雑さもありますし、また、市民の意識の調査においてがん検診を受けない理由の第一位は「必要ないと思っている」、第二位は「面倒だから」、第三位は「時間がない」という結果でした。制度の複雑さと市民が必要ないと思っている現状を若い学生からSNS等を使って発信できないかと考えています。そこで、先程ご説明した新規事業として周南公立大学・アフラック生命保険株式会社とのがん啓発活動プロジェクトを予定しております。

○委員 新規事業は課題に着目した取組ですので、今後に期待しています。

○会長 その他、ご質問等ないようですので、P16 令和8年度 健康づくり事業計画案の「案」の字をお消してください。

○会長 続きまして、議題3「その他」について、事務局より説明をお願いします。

●事務局 (「ひと涼みアワード2026」の受賞報告)  
(令和8年度の「健康づくりをすすめよう委員会」及び「ぶち元気がいいね！フェスタ」について説明)

○会長 議題3「その他」につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

○委員 中学校の部活が地域移行となるため、今後健康づくり計画の数値も動いてくるのではないかと思います。その辺りを今後注視していただきたいと思います。

○会長 貴重なご意見をありがとうございます。他にご意見はありませんでしょうか。

○委員 自分たちの活動は4歳までの子どもたちに対する取組が主になりますが、朝ごはんの大切さについてサークルなどを通してお母さま方にも周知を行っています。

○会長 ありがとうございます。他にご意見はありませんでしょうか。

○委員 チャレンジウォーキングについて詳細を教えてくださいませんか。

●事務局 市民の方を対象にやまぐち健幸アプリをダウンロードして好きな時に歩いて歩数をカウントしていきます。この取組は企業にも働きかけております。詳細につきましては、チャレンジウォーキングのチラシをお持ちしますので後ほどご説明させていただきます。

○会長 貴重なご意見をありがとうございます。他にいかがでしょうか。

○委員 食育事業の新規事業について、ワンコイン朝ごはんの提供とありますが、どのよ

うな取組なのでしょうか。また、目標として若い世代を中心とした正しい食習慣の定着とありますが、朝ごはんの時間帯にどのような取組をされるのか教えていただけますか。

●事務局 朝ごはんを食べようという取組も今年度の目玉となっております、道の駅ソレーネ周南と連携しながらワンコイン朝ごはんを提供できないかと企画の段階です。この取組にも周南公立大学にもご協力いただき、看護学科・スポーツ健康科学科・福祉学科の3学科の学生8名に参加していただいて、手軽に作れる朝ごはんレシピの開発などを企画しています。11月頃のイベントも企画段階です。

新規で楽しい企画を考えておりますので、イベントにはぜひ皆さまもご参加いただきたいと思っております。

○会長 せっかく健康づくり推進協議会という協議会がありますので、委員の皆さまの関係者からもご意見いただけましたらもっと発展していくのではないかと思います。

他に皆さまからご意見ございませんか。

○委員 大学生と一緒に健康づくりの取組ができれば良いなと思っておりますが、難しいでしょうか。

○委員 大学生も忙しく、一緒に取り組むことの難しさもありますが、私たちの活動の中で大学生と一緒に市政情報番組の撮影を予定しています。また、小学6年生を対象に朝ごはんレシピカードの配付を行いました。まずは子どもたちにも関心を持ってもらえたらと思っております。朝ごはんは睡眠にも影響するため、子どもだけではなく全世代に働きかけていきたいと思っております。

○会長 周南公立大学の学生も様々な活動に参加させていただいておりますが、日常的・継続的に関わっていけるようにぜひ大学生の力を注いでいけたらと思っております。イベント的なことだけではなく、継続的に住民の方々と関われる機会を大切にしながら進めていただけたらと思っております。

本日予定している協議事項は以上で終了でございます。市事務局の方にお返しします。

### 3 閉会

●事務局 大平会長、ありがとうございました。

以上ですべての議題が終了いたしましたので、本日の協議会を閉会させていただきます。皆さまどうもありがとうございました。